

THE ROTARY CLUB OF CHOSHI

銚子ロータリークラブ会報

国際ロータリー第2790地区

創立 昭和32年3月23日

RI承認 昭和32年4月15日

会長 島田 洋二郎

副会長 松本 恭一

幹事 石毛 充

会計 金子 芳則

2016~2017年度 RI テーマ

人類に奉仕するロータリー

ROTARY SERVING HUMANITY

2016~2017 RI 会長 ジョンF. ジャーム



例会日時 毎週水曜 12:30~
例会場 銚子商工会館 5F大会議室
事務所 銚子市三軒町19-4
銚子商工会館4階
電話 0479-23-0750
ファクス 0479-25-8789
E-mail rotary@choshinet.or.jp
URL <http://www.tcs-net.ne.jp/~crc>

第2943号 (2017年4月26日発行)

今週のプログラム

「RYLAに参加して」

千葉科学大学ローターアクトクラブ
会長 木村 徹様

前回例会報告(4月19日)

点 鐘:島田 洋二郎会長

ロータリーソング:それこそロータリー

四つのテスト唱和

ビジター紹介:八日市場RC 川口京子様

NPO法人 BeCOM 武内達彦様



1989年交換留学生
セーラ・ホームズ様
(卓話者)
ジム・ホームズ様(父)
スー・ホームズ様(母)

会長挨拶

今日はお客様が沢山いらっしゃっています。まず、八日市場 RC の川口京子様、川口様のお仕事は造園業で、3月に植えた月桂樹、ポール・ハリスの「友愛の樹」をお譲り頂きました。そして、本日の卓話者のセーラ・ホームズさん、セーラさんは以前青少年交換留学生(Rotary youth exchange)として銚子に来られた方で、セーラさんのご両親にもご出席を頂いております。また、Be-COM の武内様には、当時セーラさんのホストファミリーをされたということも有り今回お手伝いを頂いております。

セーラさんはニュージーランドの北島・タウマルヌイ・ハイスクール在学中の1989年、青少年交換留学生として銚子に来られ、1年間 市立銚子西校に通われていました。その後お国へ帰られ、ワイカト(WAIKATO)



大学を優秀な成績で卒業をし、同島のオークランドで数年働いた後、英国で8年間、財産法=相続に関する実務経験を積まれたそうです。バックバックであちこちの国も訪れ、2005年にふたたびニュージーランドに戻り、法律事務所に着任されて弁護士として活躍されることとなります。現在はヨーロッパのボスニア・ヘルツェゴビナに居られます。セーラさんは2011年に起こった東日本大震災の際、銚子市、そして銚子ロータリークラブの皆さんのことを心配されて、クラブ宛に手紙を自筆の日本語で送ってこられました。ご存知の通り、ニュージーランドのカンタベリーでもその年の2月22日に大きな地震があり、200名にも及ぶ命が失われたにもかかわらずです。今日はここでセーラさんが送ってこられた手紙を全文そのままご紹介をさせていただきます。

銚子と銚子ロータリークラブの皆様へ

私は1989年、ニュージーランドから青少年交換留学生として、銚子でホームステイをさせて頂いたセーラ ホームズです。私は銚子市と銚子ロータリークラブのことを思い出しては手紙を書こうと思ったのですが、日本語をずっと使っておらず、前ほど日本語ができるか不安で手紙は書いていません。そのことを私は恥を大変かいています。

最近の日本での地震と津波を悲しく、気持ちが悪く、テレビで見ながら、日本語が出来なくてもこの手紙を書くことに決めました。銚子市の皆様、ロータリークラブの会員様、ご家族の皆さん、私の親切なホストファミリーのお母さんやお父さんや兄弟たち、みなさんはこんなひどい状態ではなく、できるだけ安全だと心から希望しています。その上みんな自分は親族や親友も無くなかったと望んでいます。それは真実、同情します。世界の国々のみなさんは日本を見ていて、日本人といっしょに悲しんでいます。

私は銚子ロータリークラブのホストファミリーのものすごい親切や、寛大さをいっぱい経験したことが有ります。それだからクラブの会員様は、私のホストファミリーの皆様とも、自分の問題と悲しみを被りながら、できるだけ一生懸命に日本と銚子市の皆さんに、いろいろ手伝いをしていることがよくわかります。

私は遠くにいますが、何かできることがあったら遠慮しないで頼んでください。遠くても私と世界の皆さんは日本と一緒に立っています。

敬具

セーラ ホームズ



第2790地区
ガバナー 青木貞雄 (成田コスモポリタンRC)

広報・会報委員会 委員長 信太 秀紀
委員 金子 芳則

セーラさんの当時の手紙を一語も変えず紹介を致しました。幸い、と言うより当時のことを思い出すと奇跡的と言った方が良いかも知れませんが、銚子では亡くなられた方は一人もおりませんでした。あれから6年と一月が過ぎます。セーラさんの暖かいお気持ちに改めて感謝を申し上げ、会長挨拶とさせていただきます。

幹事報告

【週報拝受】

鹿島臨海 RC、佐原香取 RC、成田空港南 RC

1.2016年手続要覧誤表記のお詫びと訂正

…RI日本事務局

2.地区 R 財団 100 周年記念チャリティコンペのご案内

3.RAC 年次大会の御案内

4.地区研修・協議会の表彰についてのご案内

…ガバナー事務所

5.ハイライトよねやま205 …米山記念奨学会

6.創立 45 周年記念合同例会のご案内…銚子東RC

7.お礼状拝受 …茂原RC

8.平成 29 年度年会費納入について

…千葉科学大学おうえん協議会

【例会変更】

鹿島臨海RC 5月5日(金)休会

小見川RC 5月3日(水)休会

10日(水)→14~15日親睦旅行に振替

31日(水)休会

会員の記念日

☆結婚記念日 加瀬 貞治会員(4月10日)

大岩 將道会員(4月15日)

☆入会記念日 木曾 功会員(4月6日)

☆創業記念日 高橋 宏明会員(4月10日)

高橋 宏資会員(4月17日)

ニコニコBOX

◇八日市場RC 川口 京子様

メイクアップに出来ました。近くて遠い銚子 RC にならないように、又伺いたいと思います。



◇大ニコニコ 上総 泰茂会員

好天に恵まれた4月15日に次男が横浜で結婚式を挙げました。準備はほぼ本人任せでしたが友人達からの応援もあり和やかな披露宴となりました。後は幸せな家庭を願うばかりです。



卓話

「銚子留学を顧みて」

1989年交換留学生 セーラ・ホームズ様

自己紹介 みなさん、こんにちは。私は サラ・ホームズと申します。私は母のスーと、父のジム・ホームズと一緒にここにいます。私たちはニュージーランドから来ました。みなさんと同じく、私の父もロータリアンです。1989年、私は幸運にも、銚子ロータリークラブの交換留学生として来日しました。私は銚子で1年間、4つの親切な家族と一緒に暮ら

し、銚子西高校に通って生活しました。その時 17 歳でした。それまでの私の人生で、チャレンジしたことの中で、銚子での海外生活はもっともエキサイティングなことでした。

SLIDE 2 日本での一年間 私の

日本での日々は、新しい経験と学習機会がいっぱいでした。残念ながら、私は今、ニュージーランドに住んでいませんので、今日の話のために、この大切な時の写真をあまり見付けられなかったです。

銚子西高校では、剣道、空手、陸上部、野球チームの応援団などに参加しました。なかでも、弓道が一番好きでした。弓道では、私は学校を代表しました。私は弓道大会の第 1 ラウンドでの的を 3 回いぬき、観客の皆さんは毎回“Waaaaa”と言って、外国人がうまくやるのを見てびっくりしていました。わたしの次のラウンドを見るために、みんな、再び集まりました。でも残念なことに、その時は、私はまともな打つことはなりませんでした！はずかしかったです！しかし何より、私の最高の思い出は、日本人家族の一員として生きていることでした。私のすべての家族は、すぐに 私のことを、妹や姉、または 娘や孫娘のように感じてかわいがってくれました。

学校から家に帰るのは、毎日おばちゃんと一緒にこたつに座って、テレビを見るのはすごくうれしい思い出です。一番楽しんだばんぐみが、<たけしじょう>と志村けんの<変なおじさん>。。。理解できなくても、面白かったです。私の銚子のお母さんは、私の大好きな食べ物ーおやこどん、から揚げ、焼きそば、ピイナッツのごまあえなどを、料理してくれました。私のお父さんは私をいろいろな冒険に連れていってくれました。私の姉妹と兄弟は、私が日本語を学んでくれるように辛抱強く助けてくれて、友達と一緒に遊びにでかけました。私はとても運が良かったと感じました。外国で、このような親しい経験は本当にめずらしいことです。

SLIDE 3 - Sachiko and Azusa

同じようにエキサイティングなことは、私の3番目のホスト家族の姉、にしびろさちこさんは、わたしが日本に来るまえに、私のニュージーランドの故郷の、タウマルヌイ市へ交換留学生としてきました。幸子さんは、私の家族と一緒に住んで、私のニュージーランドの高校に行き、勉強しました。さらに、私の一番目のホスト家族の妹、高橋あずささんが、私が日本に到着したわずか、数ヶ月後に、交換留学生としてニュージーランドに行ったこともありました。このようにして、わたしたちは、本当の家族になっていたんです。

Slide 4 - other exchange students 旅

日本ロータリー・クラブは、私たちの留学生を京都や広島などの面白いところにつれていってくださいました。銚子西高校や、ホスト家族たちや、学校の友人は、東京ディズニーランド、東京ドーム、日光、箱根、登山などにつれていってくださいました。旅行バスの中、私はときどき、



日本語でカラオケを歌いました。私の大好きな歌が、「みき・かつひこ」と「こばやし・さちこ」のデュエット「もしかして」でした。私は両方の部分を歌うことができました。

ほかの外人 また、ロータリーの交換留学生として、私は素晴らしい外国人留学生にも会いました。その当時出会った私たちグループの5人が、今年2017年、オーストラリアのメルボルンで初めて再会しました。そのあと、2019年には、30年の再会のために日本に行こうかなあと話をしています！すでに30年が過ぎたと思うのは、ほんとうに信じられないことです！日本からニュージーランドに帰ってから、私は逆文化ショックを覚えています。「時間」のような簡単な英単語を忘れることや、NZの信号機が垂直であることに初めて気づくこと、日本の信号機が水平なので。。。私の日本からの学習は長い間続きました。

皿洗い方法 これらの種類の実現は、より深いレベルで何かを教えてください。私が初めて日本に到着したとき、日本での皿を洗う方法に驚いたことを覚えています。私は、お手伝いになっていると思って、お皿を洗おうとしました。私はシンクにプラグを入れて、シンクを水と石鹸で注ぎ始めました。NZふうのさら洗いです。私のホストお母さんが私を止めて、「ダメダメダメ」と言いました！彼女は日本の皿洗いの方法を説明してくれました。水の中で皿をすすぎ、次にそれらを石鹸で洗い流し、次にそれらをすすぎ、と教えてくださいました。日本人がお風呂を取る方法と同じような感じでした。ニュージーランドでお風呂をとると、やはりきたない水に座って洗います！私はだいたいレッスンを習いました。外国では、ことなっている方法を使うだけでなく、ときどき、その方法は私の国のものより、あたまのいい方法です！このような留学生の交換は個人の学生にも、世界のためにも、大変大きな利益をもたらします。馴染みのない、怖かったことが、だんだん馴染み深く、あんしんできると、それによって、新しい視野を通して自分の世界を見て、あなたが本能的に知っているかと思っていたことを、すべて考え直すことが必要になります。この世界でその開放心が多すぎる事が不可能なことだと思いますそのうえ、こういう交換の経験のせいで、学生の自信が増えることがあります。知らない人と話したり、言語を知らない環境に生活したり、新しい家族と一緒に住んだり、自分の両親の支持から遠く生きていて、留学生は外国での日々に大人になるんだとおもいます。そして“何でもしたいことがあると、そのことができる”って感じがだんだんできます。

日本のあと 私の日本での一年間のあと、この新しい自身と、オープンマインドと、好奇心をもって、素晴らしい人生をいけることができました。

Slide - law 大学で日本語と法律を勉強しました。日本語クラスと一緒に、日本に帰って、3か月長野県の車山高原スキー場の受付所に日本語で勤めました。3~4年後、私は日本語能力試験1級に合格して、弁護士として卒業しました。残念ながら、そのときから、今まで、日本語の使える場合がありませんでした。私はニュージーランドとイングランドで弁護士として働きましたが、それは私の一番やりたいことではありませんでした。外国語、文化、歴史、政治、宗教、人道主義、自己啓発の興味があって、冒険が、私を呼び覚ました。運よく、私たちが1つの人生だけを持つのに、それに1つの人生だけ生きる必要はないのです！

Slide - jumping 私は橋から、崖から、飛行機から、飛び降りました。イルカと一緒に泳ぎました。

Slide - meditation アジアで11日間のサイレント瞑想の後退を楽しみました。

Slide - Sport ふたつのマラソンと、ひとつのアイアンマン・トライアスロンを終えました。アイアンマンは、世界で最も長い標準トライアスロンです、泳ぐのは3.8 km、自転車は180 km、最後は42.2 kmのマラソンです。日本人はよくニュージーランドのアイアンマンに参加します。かれらを見る時、私は必ず“がんばって”を大きい声で叫ぶようにします。

Slide - countries それでも、私のいちばん愛していることは旅行です。私は今までに92カ国に旅行していました。ときどきそこに住んで、ときどきそれらを通りだけすることもありました。

Slide- tadpole カトマンズからロンドンまで

私の最初の大きな旅、カトマンズからロンドンまでの二階建てバスツアーに参加しました。私たちが3ヶ月半運転したときに、文明の最古の部分や多くの文化や宗教を通り過ぎて、15人ほどの人々がバスで住んで、寝て、料理をして、食べて、生活をしました。

Slide buildings 私たちはインドのヒンズー教の寺院、パキスタンやイランのモスク、トルコとシリアのローマ遺跡、レバノンの城、イスラエルのシナゴグ、ギリシャの高い崖の上に隠れているモニュスタリを訪れました。

Slide - ak47 私たちはシャドーを着ました。禁止されていた音楽をかくしました。AK47というライフルを撃ちました。地元民といっしょにミントティーを飲み、シーシャパイプをすって、人間愛など、学び、学び、学びました。

それ以来、たくさんの短い旅とながいたびをしました。でも、旅行の愛をする人にさえも、ときどき一つの場所でしばらく時間を過ごしたいことがあります。わたしの日本での一年かと同じように、これらの時間は、特別に素晴らしい経験になります。

Slide - Karen school タイランド

2004年、ビルマのカレン族の難民と一緒に、4か月、タイランドに住みました。カレン族はその時、56年間のビルマ民族軍に対する内戦を戦っていました。何十万人もの人々がタイに逃げて、非公式難民キャンプに住んでいました。私は、13人の有望な未来の指導者からなるグループを相手に、民主主義、法の支配、憲法について教える機会を得ました。いつか、かれらがビルマでの自分のしたがつているカレン州のために、知識を持つことを願いました。私たちは木や竹の小屋に住みました。手で米や魚を食べたり、井戸から冷たい水で顔や体を洗ったり、同じ場所で寝たり学んだりしていました。

Slide - inside カレン族のリーダーがカレン州に私を連れて行ってくれました。小さな竹の村を訪問し、医学的、道徳的な支援をしました。我々は武装した警備員と一緒に地雷を避けるために緊密に従わなければならなかったです。私はニュージーランドに戻ってから、両親と一緒に森林を散歩して、信じられないほど感謝したことを思い出しました。ニュージーランドでは、ヘビ、有毒なクモ、危険な動物や地雷がないのです。



Slide - Presevo セルビア 2015年には、セルビア - マケドニア国境でのボランティア活動を1週間もできました。その時、国境はまだ開いていて、シリア、中東およびアフリカの他の難民は、毎日1万人が国境を越えて来ていました。情報テントで夜のうちに立って、貧しい人々が暗闇の中を歩いているのを見て、道をいっぱいいっぱいにしていただのは、あまり言い表せなかったのです。祖父母、お母さん、子供、男性はすべて、公用のキャンプに入る前に、数時間、ときどき12時間以上待たなくてはならなかったのです。ボランティアたちは、最も必要な人たちに服を渡し、温かいスープを提供し、待っている人にいろいろ世話をしました。わたしは、そのうえ、Save the Childrenというきかんの“Baby room”という、<赤ちゃんのためのそば>、でボランティアしました。もし警察が許せば、幼い子どもたちと一緒に、お母さんを、れつから連れ出して、Babyroomに連れて行きました。Babyroomには寝る場所があり、衣服、おむつ、牛乳、消耗品などをだしてあげました。

Slide Buses - この人々がキャンプに入ってから、処理されていました。そのあと、悪徳のタクシーの運転者、警察官、と人身売買業者を避けてみて、早速次の目的の国の国境に進んでしまいました。

Slide - Sarajevo ボスニア。サラエボ

このごろ、私は南東ヨーロッパの、ボスニアとヘルセゴビナの首都の、サラエボに住んでいます。大変美しいところです。都市の周りには、モスク、カトリック教会、正教会、シナゴークは一緒に立っています。毎日、美しいイスラム教徒の祈りの呼びかけ、カトリックと正教会の教会の鐘の音や、鳥の歌が聞こえます。セクシーなドレスを着ている女の、またはフルカバーのシャドーを着ている女の、街中で混じっています。ボスニアは、旧ユーゴスラビアの6つ州からの、いつも一番の多文化と文化的に寛容でした。



Slide - war でも、この国もわずか22年前、自分の残忍な戦争が軍事的に終わったのです。政治的には、この国はまだ戦争にはじめた闘争から分かれています。政治家や、その仲間たちは、引き続き、国家主義の、<分裂と征服>の危険なゲームを続け、国を停滞させます。ボスニアとHには、拒否権を持っている大統領が3人います。1人はイスラム教徒の“Bosnjak”、1人はカトリックのボスニアのクロアチア人、もう1人は正教会のキリスト教徒のボスニアのセルビア人で、それぞれ自分の民族を代表しています。何らかの形で、宗教は、民族のアイデンティティーと同義になっていますが、現実には、必ずしも、そうではありません。これらの民族は大なり小なり同じです。

Slide- Language 戦争から、ボスニアには、3つの公式の言語があります。例えば、タバコのポケットには、「喫煙は殺す」ということが、ボスニア語、クロアチア語、セルビア語の3つの言語で書いてあります。その3つの言語は、すべて同じですが、セルビア語だけは、キリル文字で書かれています。このいうところの3つの言語のせいで、それとも各グループの戦争がはじめた理由の異なっている解釈のせいで、ボスニアのいくつかの町では、ボスニア人とクロアチア人の子どもたちは、別の学校に行きます。政治家は、

互いの信頼をこわすために、戦争における残虐行為をよく話し、各グループの違いとニーズの違いを強調します。ひとびとの個人的な信念がちがっているのに、ひとつのこの3つのグループを参加しないと、仕事をみつけ、ヘルステアを受けたり、生き残ることが難しい可能性があるのです。

Slide - coffee ボスニアの全ての国民グループは、ブラックユーモアと、客への信じられないほどの寛大さで、彼らの痛みをカバーします。いっしょにコーヒーを飲んで、冗談や話をするのが



重要な儀式です。時代が難しくなる時、国家主義だけに可能性があるわけではないではありません。世界の現在状況の時にはこれを覚えておくのは非常に大事だと思います。

Slide - japan in bosnia ボスニアでの日本 私は、モスタルという、戦争から分断された町で、はじめて日本のボスニアでの存在を見ました。モスタルの市バスは、すべて日本から寄贈され、日本の旗の絵は全部のバスのそとにかいてあります。そのうえ、私は日本からのコンピュータの納品や、日本の映画祭や、日本人の太鼓の演奏会なども、ボスニアで見たことがあります。おそらく、私の日本の、と日本語の、愛と、私のボスニアの愛が、何とか一緒になって、私の人生に、新しい日本とボスニアの関係の人生時代ができるようにするとのぞみます。

ロータリークラブ ロータリー交換留学生プログラムも現在特別に大事だと思います。私たちの小さい世界に、人間の違いを強調し、お互いに対立する人々が多くなりそうなので、わたしたちが、世界中、みんな基本的に同じだと考える人々も、私たちの違いが強さになれることを知っている人々も、必要です。私は銚子ロータリークラブ交換学生だったことを、心から感謝しています。このチャンスと、今日の話しをさしあげる機会に、感謝でいっぱいです。プログラムは長い間、つづいていくと望みます。皆様、どうもありがとうございました。



セーラさんよりいただきました☺

【出席報告】

会員総数41名 出席計算39名
出席:30名 欠席:9名 出席率76.92%
欠席:青野君・伊東君・越川君・信太君・杉山君
富永君・副島君・永澤君・高橋宏明君

【M U】 4/18 銚子東RC 大里君

【ニコニコ】

ニコニコ BOX	¥ 16,000	計	¥ 435,000
スモールコイン	¥ —	計	¥ 44,676
米山 BOX	¥ 2,800	計	¥ 45,871
希望の風	¥ —	計	¥ 267,400

次週 5月3日の例会は休会です
 次回のプログラム (5月10日)
 「地区研修・協議会に参加して」
 宮内 秀章会員・高瀬 幸雄会員
 お弁当: 桔梗屋 (幕の内)